

23. 埋蔵文化財の委託調査に関すること

主管：木曾文化公園

経緯

木曾圏域における埋蔵文化財の調査は、専門職員の確保、経費面の問題により平成3年度から木曾郡町村会に専門職員を配置し、広域的な対応が進められてきた。

平成11年度からは木曾広域連合の事務として位置づけられ、引き続き町村の埋蔵文化財調査指導業務等を受託し、広域事業として一定の成果を積み重ねてきた。

現状と課題

現状 現在、木曾郡下における埋蔵文化財調査は、上松町のほ場整備事業に先立つ調査作業が進行中である。木曾圏域においては、専門知識のある指導者のもとで発掘調査を進めている。

課題 今後も中山間総合整備事業等の土地改良事業に伴う発掘調査が計画されているが、長野県においては、現在、民間機関への全面委託調査が認められておらず、試掘調査や小規模調査等に対する連合の即応体制の構築が必要である。そのために、指導員1名の体制に加え、補助員等の確保を検討する必要がある。

今後の方針

農業基盤整備や公共事業等が計画的かつ効率的に行われるよう、町村及び町村教育委員会、県教育委員会、地域振興局等の関連機関と密接に協議を重ねながら、委託調査事業を遅延させることなく続けられるよう努める。

施策

- 1 埋蔵文化財調査
 - ① 委託調査事業の円滑な実施
 - ② 指導員体制のあり方検討